

9 暮らしの中での環境配慮

▶ 現況と課題

◆ 環境配慮行動の実施について、アンケートでは、省エネなど意識の高さがうかがえますが、ごみの総量や電力消費量が増加しており、それらの取り組みがまだ十分ではないのが現状です。

また、事業者の環境への配慮に対して、廃棄物対策や再資源化製品の利用などへの取り組みが特に期待されていますが、事業者の環境に対する認識は低い状況にあります。

そのため、市の率先した行動と啓発により、市民一人ひとりが感じている問題意識を自分の生活に置き換え、そのライフスタイルを見直すきっかけづくりが重要となっています。

◆ 市内では現在、公園の維持管理協定など地域による主体的な取り組みが行われていますが、まだ十分とは言えない状況にあります。

また、市では、これまで年3回市民清掃活動を実施し、市民意識の啓発を図ってきましたが、参加者は減少傾向にあります。

一方、アンケートからは、ペットの増加に伴うフンの始末の問題やポイ捨てなどのマナーの問題について、半数以上が不満を感じており、今後は一層の美化意識の

向上を図っていくとともに、市と市民が適切な役割分担のもとで、市民一人ひとりが自ら問題解決に取り組めるような環境をつくっていくことが重要となっています。



公園の維持管理協定による清掃活動



クリーン大作戦



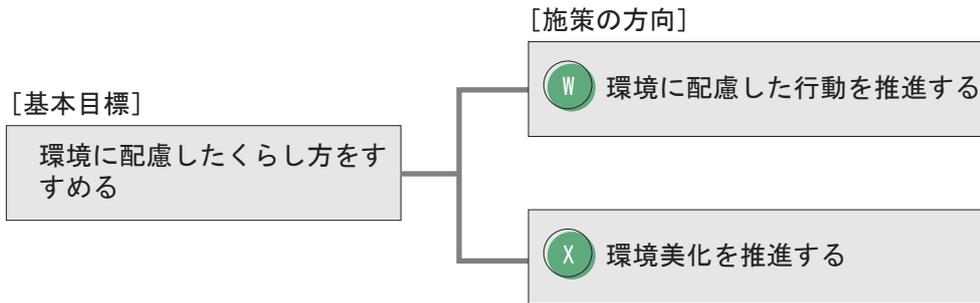
市民清掃

基本目標 (9) 環境に配慮した暮らし方をすすめる

管理指標

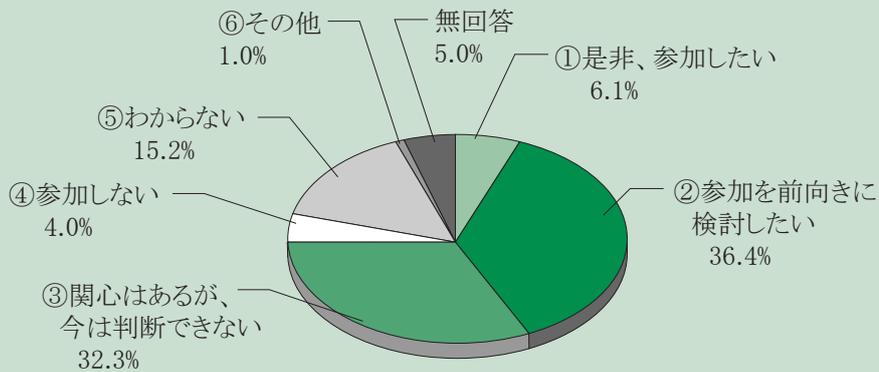
- 仮称)環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3ヵ年ごとに見なおしながら推進します。
- 仮称)環境優良企業の認証割合を市内の小売店の50%以上とすることを目標とします。
- 仮称)美化推進地区数を毎年4地区ずつ増加していきます。
- 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とします。

施策の方向



エコマーク等の認定制度への事業者の参加意向は…

[市がエコマーク等の認定制度を制定した場合の事業者の参加意向]



出典：「平成12年度塩竈市環境アンケート」

市民一人ひとりが自らのライフスタイルを見直し、環境配慮に取り組めるよう啓発・教育活動を進め、また、事業者にも指針を示し環境配慮への取り組みを啓発します。

さらに、市民や事業者の積極的な環境配慮行動に結びつくよう、市が率先して環境配慮行動に取り組みます。

具体的施策

- 環境率先実行計画を策定し、市が率先して環境配慮に取り組みます。
 - ◇環境率先実行計画の策定、推進【再掲】
- 市民や事業者に環境配慮指針の普及・啓発を進めます。
 - ◇環境配慮行動指針の普及・啓発【再掲】

きれいな塩竈を市民一人ひとりの手で実現できるよう、ごみの散乱やポイ捨て防止、動物飼養のマナー向上などの啓発を進めるとともに、美化活動・清掃活動などへの主体的な取り組みを積極的に支援します。

また、美化推進のモデル地区や重点地区を設置し、地域を基盤とした美化に取り組みます。

具体的施策

- 散乱ごみを防止し、市民の美化意識の向上を図ります。
 - ◇環境美化・マナー向上の啓発
 - ◇「ごみの持ち帰り運動」の推進
 - ◇ペット飼育のマナー向上の啓発
- 地域での美化指導を徹底し、美化推進の主体的な取り組みを積極的に支援します。
 - ◇環境指導員制度の導入【再掲】
 - ◇美化推進モデル地区等の指定、支援
 - ◇地区環境協定制度の検討【再掲】